

教父研究会活動報告

(二〇一六年二月～二〇一七年九月)

第一五八回教父研究会

二〇一六年二月二七日(土) 東京大学

谷隆一郎氏「神化の道行きと、その内的根柢をめぐって

—「キリストの十字架と復活」の働きを愛智Ⅱ哲学として問い披く—

特定質問者：袴田玲氏、山本芳久氏、田島照久氏

第一五九回教父研究会

二〇一七年三月一日(土) 東京大学

大貫隆「ハンス・ヨナス『グノーシスと古代末期の精神』によせて」

特定質問者：山本巍氏

第一六〇回教父研究会

二〇一七年六月二四日(土) 東京大学

寒野康太氏「教父研究としての『四世紀のアリウス派』

—教父学研究史上に再び位置づけることは可能なの

か」

松澤裕樹氏「エックハルトの父—子関係理解と存在論—

アウグスティヌスとトマス・アクイナスとの比較から」

第一六一回教父研究会

二〇一七年九月三〇日(土) 東京大学

山根息吹氏「ニュッサのグレゴリオス『その時子自身も』における万物回復論—人格の完成と人間本性全体の完成の関わりをめぐって」

大庭貴宣氏「殉教者ユスティノスにおける「神の力」と「聖霊」の理解—『第一弁明』第33章と『対話』第87章を中心に」

教父研究会役員(二〇一三年六月から)

名誉会長 加藤信朗

会長 出村和彦

理事 上村直樹・柴田有・高橋英海(事務局長・編集担当理事)・出村和彦・水落健治・宮本久雄・

村上寛・山本芳久(事務局・編集担当理事)

会計監査 高橋雅人

幹事 編集担当 袴田渉

会計担当 袴田玲

庶務担当 坂田奈々絵

査読担当 高橋英海・出村和彦・水落健治・

村上寛・山本芳久

事務局所在地

〒一五三―八九〇二

東京都目黒区駒場三―八一

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

高橋英海研究室

『パトリステイカ』投稿規定

1. 本誌への投稿は、教父研究会での口頭発表を前提とする。発表を希望する会員は、原則として、発表前年の一月末日までに事務局宛にメールにて申し込むこと。事務局のメールアドレスは、以下のとおり。
takahashi@ask.c.u-tokyo.ac.jp
2. 投稿原稿の締め切りは、発行年の三月末日とする（依頼原稿は必ずしもこの限りではない）。

3. 本誌は投稿原稿に限り、査読制を採用している。原稿

の採否、及びその取り扱いは、提出原稿を審査のうえ、運営委員会が決定し、投稿申込者に通知する。

4. 原稿の字数は、一六、〇〇〇字以内 縦書き（欧文タイトルを付す）